

## 計算書類に対する注記(法人全体用)

## 1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

## 2. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却の方法

・建物並びに器具及び備品 - 定額法

## 3. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 4. 法人で採用する退職給付制度

退職給付制度は、独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度によっている。

## 5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) 法人全体の計算書類(会計基準省令第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式)

(2) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

(3) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

## 6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	119,921,110	0	0	119,921,110
建物	271,349,675	21,671,600	13,167,902	279,853,373
合計	391,270,785	21,671,600	13,167,902	399,774,483

## 7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は、以下のとおりである。

土地	114,812,110円
建物	238,476,468円

計	353,288,578円
---	--------------

担保に供している債務の種類および金額は、以下のとおりである。

1年以内返済予定設備資金借入金	14,376,000円
設備資金借入金	137,151,000円

計	151,527,000円
---	--------------

## 9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
建物	365,139,255	85,285,882	279,853,373
小計	365,139,255	85,285,882	279,853,373
その他の固定資産			
建物附属設備	28,172,000	14,191,038	13,980,962
構築物	11,850,000	2,706,500	9,143,500
車輛運搬具	22,068,110	19,235,939	2,832,171
器具及び備品	15,756,027	6,316,223	9,439,804
その他の固定資産	485,485	65,054	420,431
小計	78,331,622	42,514,754	35,816,868
合計	443,470,877	127,800,636	315,670,241

## 10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	77,480,619	0	77,480,619
合計	77,480,619	0	77,480,619

## 11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類に対する注記（つやざき拠点区分拠点区分用）

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物並び器具及び備品 - 定額法

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

退職給付制度は、独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度によっている。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) つやざき拠点計算書類(会計基準省令第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式)

(2) 拠点区分資金収支明細書(別紙 3 ( ))

(3) 拠点区分事業活動明細書(別紙 3 ( ))

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	19,666,000	0	0	19,666,000
建物	110,547,017	9,748,400	5,243,652	115,051,765
合計	130,213,017	9,748,400	5,243,652	134,717,765

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は、以下のとおりである。

土地	14,557,000円
建物	87,803,064円
計	102,360,064円

担保に供している債務の種類および金額は、以下のとおりである。

1年以内返済予定設備資金借入金	3,072,000円
設備資金借入金	15,388,000円
計	18,460,000円

## 8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
建物	163,734,371	48,682,606	115,051,765
小計	163,734,371	48,682,606	115,051,765
その他の固定資産			
建物附属設備	9,787,000	7,208,853	2,578,147
構築物	5,683,000	2,191,991	3,491,009
車輛運搬具	19,014,360	16,182,192	2,832,168
器具及び備品	7,556,467	4,640,752	2,915,715
小計	42,040,827	30,223,788	11,817,039
合計	205,775,198	78,906,394	126,868,804

## 9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	30,173,874	0	30,173,874
合計	30,173,874	0	30,173,874

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
該当なし

11. 重要な後発事象  
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項  
該当なし

## 計算書類に対する注記（宗像拠点区分拠点区分用）

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物並び器具及び備品 - 定額法

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

退職給付制度は、独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度によっている。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) 宗像拠点計算書類(会計基準省令第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式)

(2) 拠点区分資金収支明細書(別紙 3 ( ))

(3) 拠点区分事業活動明細書(別紙 3 ( ))

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	14,834,465	0	0	14,834,465
建物	60,198,628	5,335,200	2,470,492	63,063,336
合計	75,033,093	5,335,200	2,470,492	77,897,801

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は、以下のとおりである。

土地	14,834,465円
建物	63,063,336円
計	77,897,801円

担保に供している債務の種類および金額は、以下のとおりである。

1年以内返済予定設備資金借入金	4,008,000円
設備資金借入金	32,876,000円
計	36,884,000円

## 8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
建物	77,704,560	14,641,224	63,063,336
小計	77,704,560	14,641,224	63,063,336
その他の固定資産			
構築物	6,047,000	418,509	5,628,491
車輛運搬具	250,000	249,999	1
器具及び備品	3,017,459	361,496	2,655,963
小計	9,314,459	1,030,004	8,284,455
合計	87,019,019	15,671,228	71,347,791

## 9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	18,145,088	0	18,145,088
合計	18,145,088	0	18,145,088

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
該当なし

11. 重要な後発事象  
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項  
該当なし

## 計算書類に対する注記（アトリエ拠点区分拠点区分用）

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物並び器具及び備品 - 定額法

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

退職給付制度は、独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度によっている。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) アトリエ拠点計算書類(会計基準省令第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式)

(2) 拠点区分資金収支明細書(別紙 3 ( ))

(3) 拠点区分事業活動明細書(別紙 3 ( ))

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	9,336,800	0	0	9,336,800
建物	9,911,577	0	1,310,319	8,601,258
合計	19,248,377	0	1,310,319	17,938,058

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は、以下のとおりである。

土地 9,336,800円

建物 8,601,258円

計 17,938,058円

担保に供している債務の種類および金額は、以下のとおりである。

1年以内返済予定設備資金借入金 1,608,000円

設備資金借入金 9,528,000円

計 11,136,000円

## 8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
建物	19,557,000	10,955,742	8,601,258
小計	19,557,000	10,955,742	8,601,258
その他の固定資産			
建物附属設備	565,000	299,685	265,315
構築物	120,000	96,000	24,000
車両運搬具	2,803,750	2,803,748	2
器具及び備品	2,324,059	1,198,355	1,125,704
小計	5,812,809	4,397,788	1,415,021
合計	25,369,809	15,353,530	10,016,279

## 9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	6,337,801	0	6,337,801
合計	6,337,801	0	6,337,801

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
該当なし

11. 重要な後発事象  
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項  
該当なし



## 計算書類に対する注記(さつきの杜拠点区分拠点区分用)

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物並びに器具及び備品 - 定額法

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

退職給付制度は、独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度によっている。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) さつきの杜拠点計算書類(会計基準省令第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式)

(2) 拠点区分資金収支明細書(別紙 3 ( ))

(3) 拠点区分事業活動明細書(別紙 3 ( ))

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	34,992,516	0	0	34,992,516
建物	35,040,409	6,588,000	1,712,461	39,915,948
合計	70,032,925	6,588,000	1,712,461	74,908,464

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は、以下のとおりである。

土地	34,992,516円
建物	25,787,744円
計	60,780,260円

担保に供している債務の種類および金額は、以下のとおりである。

1年以内返済予定設備資金借入金	2,340,000円
設備資金借入金	23,690,000円
計	26,030,000円

## 8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
建物	46,262,884	6,346,936	39,915,948
小計	46,262,884	6,346,936	39,915,948
その他の固定資産			
建物附属設備	17,820,000	6,682,500	11,137,500
器具及び備品	1,977,361	91,108	1,886,253
小計	19,797,361	6,773,608	13,023,753
合計	66,060,245	13,120,544	52,939,701

## 9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	18,670,816	0	18,670,816
合計	18,670,816	0	18,670,816

## 10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

## 11. 重要な後発事象

該当なし

## 12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類に対する注記（アシスト拠点区分拠点区分用）

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物並び器具及び備品 - 定額法

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

退職給付制度は、独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度によっている。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) アシスト拠点計算書類(会計基準省令第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式)

(2) 拠点区分資金収支明細書(別紙 3 ( ))

(3) 拠点区分事業活動明細書(別紙 3 ( ))

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	41,091,329	0	0	41,091,329
建物	55,652,044	0	2,430,978	53,221,066
合計	96,743,373	0	2,430,978	94,312,395

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は、以下のとおりである。

土地	41,091,329円
建物	53,221,066円
計	94,312,395円

担保に供している債務の種類および金額は、以下のとおりである。

1年以内返済予定設備資金借入金	3,348,000円
設備資金借入金	55,669,000円
計	59,017,000円

## 8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
建物	57,880,440	4,659,374	53,221,066
小計	57,880,440	4,659,374	53,221,066
その他の固定資産			
器具及び備品	880,681	24,512	856,169
その他の固定資産	485,485	65,054	420,431
小計	1,366,166	89,566	1,276,600
合計	59,246,606	4,748,940	54,497,666

## 9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	4,153,040	0	4,153,040
合計	4,153,040	0	4,153,040

## 10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

## 11. 重要な後発事象

該当なし

## 12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし